

始めよう! ごつつお生活



今月の妙高ごつつお生活度チェック

○お月見 ○栗拾い、クルミ拾い ○秋ナスを食べる

9月◎^{なが}長月^{づき}

夜がだんだん長くなる「夜長月(よながつき)」の説が有力。雨が多く降る時季…「長雨月(ながめつき)」「稲刈月(いなかりづき)」など。

米が実り秋祭りの季節

【笹寿司】 妙高に伝わる笹寿司。古典的なものは木の枠に笹を敷き詰め層にして作る笹寿司。最近はおっぱらわらんじょ寿司(→)、笹み寿司が人気。妙高高原の石田屋さんの笹寿司(↓)も懐かしい味です。



保存食

クルミや、栗を拾おう! 茸を食べよう。

【9月におすすめの保存食】

余剰の野菜でラタトゥイユ→瓶詰め

拾ったクルミはビニール袋などに詰め実を腐らせる。冬の前に洗って乾燥。冬の間炒って中身をほじくる。



『妙高の暦を学んで…始めよう!ごつつお生活』

「日本の節句や行事食」「地域の伝承料理」には、季節に穫れる材料の活かし方や楽しい暮らしのヒントが満載。妙高の風土を活かした保存食作りや行事食から、自分流の「四季の暮らしの楽しみ方」を見つけてみましょう。『始めよう!ごつつお生活』は、魅力あふれる地域の食文化を暦をめぐるように学ぶ、おいしい暮らしのセミナーです。

- 9月1日 二百十日 農家の三大厄日
- 9月2日 禾乃登(こくものすなわちみのる・七十二候)
- 9月8日 白露(はくろ・二十四節気) 露が降り始める。草露白(くさのつゆしろし・七十二候)
- 中秋の名月(十五夜) お月見
- 9月9日 重陽(ちょうよう・菊の節句) 五節句、菊にちなんだ料理など
- 9月11日 二百二十日 農家の三大厄日
- 9月13日 鶴鶴鳴(せきれいなく・七十二候)
- 15日この頃、長沢のよみや…雨乞いの祭
- 9月18日 玄鳥去(つばめさる・七十二候)
- 9月20日 彼岸(入り) 明けは9/26
- 9月23日 秋分(二十四節気)・雷乃収声(かみなりすなわちこえをおさむ・七十二候)
- 9月24日 社日(社日) …産神様を祀る日。小局のぼたもち神様
- 9月28日 蟄虫坏戸(むしかくれてとをふさぐ・七十二候)

今年の十五夜は9月15日

お月見をする日

昼と夜の長さが等しくなる「秋分」の頃の月の角度が月見に適している。旧暦8月15日の夜が十五夜にあたり、今年は9月15日。今年の9月の満月は9月16日。9月は秋の夜長をお月見で楽しみましょう!



満月の反対は新月=朔(さく)

月と人間(動物)はシンクロしていて、新月は特にパワーがみなぎると言われ、物事を始めるのに適していると言われています。9月の新月は24日です。朔日を月の始まる日「1日」とする。月の始まりは「月立ち(つきたち)」が転じて「ついたち」と言うため、朔日は「ついたち」と訓読みし、「朔」だけでも「ついたち」と読む。



水と薪学園
THE MIZU TO MAKI CAMPUS



「妙高歳時記カレンダー」は、水と薪学園「妙高ミュージアム」で製作しています。水と薪学園では各種受講者を募集中!
<http://mmc.artnais.net> (村越まで)
妙高市楡島 ☎ 0255-75-3941